

私たちも コンカツ^{計画}で Let's be happy



店の改装をきっかけに、いろいろなことにチャレンジして成果が出たら楽しいかなと思って「鰹大トロ丼」をメニューに加えました。その「鰹大トロ丼」が、コンカツプロジェクト参加へのきっかけでした。市や観光協会がさまざまな活動をしているのを見て、少しでもお手伝いできればと思って、また、枕崎の知名度が上がればお店の知名度も上がっていくんじゃないかとも思いました。コンカツプロジェクトを通して、私たちが稚内と縁ができたかなと思っています。私たちの店では味はもちろんですが、盛り付け（見た目）にもこだわった「鰹大トロ丼」を提供しています。これからは店の販売だけに留まるのではなく、市外のイベントにも出て、商品を買ったり、料理を提供することで枕崎やコンカツプロジェクトの知名度を上げられたらいいなと思います。枕崎が発展することを期待して、このプロジェクトが盛り上がり続けていけばいいですね。



神社は自分を写す鏡だと教わりました。願いを叶えたいことをまず自分なりに頑張っ、神様にそれを見てもらい、お力添えをいただく。私自身も「婚活」を頑張った甲斐があって、先日、良縁に恵まれました。“縁を結ぶ”ということも、ただ待つだけでなく、ある程度の努力をして掴むものなのかなと感じました。「縁結び」というのは「結婚」や「恋人」など、大人のイメージがあると思うんです。でも、子どもにも学校や友達、先生などとの「縁」があります。「縁」は本当にいろいろを作ろうかと考えています。その御守で大人から子どもまでいろいろな「縁」が結ばれたらいいなと思っています。自分がこのプロジェクトに関わることで、地域が発展し、それぞれが幸せを掴めるように、また、それぞれの願いが叶うようにお手伝いできればと思っています。皆さんにいろいろな「ご縁」がありますように。



プロジェクトに参加するきっかけになったのは、知人から「“昆鯨”でなんか作れない？」とお誘いを受けたことでした。現在、鯨節の粉と利尻昆布の粉末を練り込んだ生地をベースとした3種類のパンを販売しています。2つの粉をソフトフランスの生地に入れた「コンカツロール」は、保育園の栄養士さんの目に留まり、月に1回、給食の献立で使っていただくようになりました。コンカツロールは味が甘くないので、おかずと一緒に食べると合いますよ。国民文化祭でなだ万の木浦社長の出汁取り実演を見て以来、息子の嫁がきちんと出汁を取ってみそ汁とかを作るんですが、本当においしいんです。うまみが出る分、味噌も少量でいいので、塩分も抑えられます。プロジェクトに参加して、私自身意識が変わりました。「コンカツ」が健康につながっていけばいいなと思っています。そして、私たちがその一助となればいいなと思います。



コッベ東京堂
小牧 奈々子さん



南方神社
山崎 隆明さん



ABC.American Bar Canon
松野下 ひで子さん

鹿兒島県立短期大学商経学科教授で、本市のカツオの魅力にさまざまな角度から迫った「カツオ今昔物語 地域おこしから文学まで」の出版の発起人でもある福田忠弘さんに話を聞きました。

業種・地域を超えて

「初めてコンカツプロジェクトの事を聞いたときはすごい面白いプロジェクトだと思いました。普通のプロジェクトは地域の中でやるのが通常だと思うんですが、地域の枠を超えて北海道と一緒にやるというのはすごいと思います。コンカツは、鯨節だけでなく、結婚の「婚活」ともかけて『ミナカツ』や『キタコン』というようなプロジェクトにならなくて、ネーミングからもさまざまな発想が出てくる。物と物の交流だけでなく、人と人も交流して、顔の見えるつながりを模索しているところがほかのプロジェクトと違うところではないでしょうか。普段なかなか交わらないであろう漁協や農協、通り会連合会など異業種の人たちが集まることでいろいろなアイデアが出てくる。そこも魅力ですね。そして、プロジェクトを通してできたネットワークによってさらに

枕崎が活性化していく。そういう意味でも今までなかった縁がこのプロジェクトを動かしていますよね」と福田さんは話します。

「まずは鹿兒島で知名度を上げて県外へと。それで市外の人に枕崎でしか食べられないグルメを味わってもらって、商品を買ってもらおう。あと、鯨節製造の際に香りがしますよね。あの香りは枕崎のオンリーワンだと思うんです。ああいう香りも実際に来て感じて欲しいですね。東京などで発売されるガイドブックに必ず出てくるような知名度があれば、経済効果ももっと出てくると思います」と福田さんはコンカツプロジェクトがもたらす効果について期待を寄せます。

「私は和食文化の広まりとともに注目を集めるカツオの魅力を一冊にしたい。カツオを巡る物語は、全国の地域振興や食文化発展のモデルになると思います。『カツオ今昔物語』をまとめました。より多くの人に読んで

枠を超えた 新たな 地域おこし



鹿兒島県立短期大学
商経学科 教授
福田 忠弘さん

「まずは和食文化の広まりとともに注目を集めるカツオの魅力を一冊にしたい。カツオを巡る物語は、全国の地域振興や食文化発展のモデルになると思います。『カツオ今昔物語』をまとめました。より多くの人に読んで

コンカツプロジェクト会員募集 コンカツプロジェクトに参加して枕崎を盛り上げよう！

コンカツグルメ・商品等を開発したいという方は
○正会員 1口 5,000円/年
●主にコンカツグルメや商品等を開発する事業者・個人向け
●商品パッケージ等にコンカツプロジェクトのキャラクター及びロゴを使用できます。
●コンカツ商品の普及・宣伝活動をお手伝いします。現

在、通年でコンカツスタンプラリーを開催しています。
●コンカツプロジェクトのぼり旗を配布します。
コンカツプロジェクトを応援したいという方は
○準会員 1口 1,000円/年
●主にコンカツプロジェクトを応援してくれる個人の方向け
■問合せ コンカツプロジェクト協議会事務局(水産商工課内) TEL72-1111(内線421)